昭和61年度兵庫県 社会人リーグ成績表

チーム名	神戸FC	三菱神戸	三木FC	明倫クラブ	西淡FC	神崎高級工機	兵庫朝鮮	神戸市役所	新日鉄広畑	勝数	引分	負数	勝点	得点	失点	順位
神戸FC		○2−1	○2−1	○3−1	○3−0	○4−2	●1−2	○5−0	○3−2	12	1	3	25	23		1
三菱神戸	●1−2		○3−1	○3−1	○2−0	△1−1	○6−0	○3−0	○1−0	11	2	3	24	21		2
三木FC	●1−2	●1−3		●1−2	○2−1	○7−1	○4−3	○2−0	○5−0	10	1	5	21	17		3
明倫クラブ	●1−3	●1−3	○2−1		●1−2	●1−3	○3−1	○2−1	○2−1	9	0	7	18	13		4
西淡FC	●0−3	●0−2	●1−2	○2−1		●0−1	○5−0	○3−1	○4−0	7	2	7	16	6		5
神崎高級工機	●2−4	△1−1	●1−7	○3−1	○1−0		○1−0	○2−1	○4−2	7	2	7	16	−10		6
兵庫朝鮮	○2−1	●0−6	●3−4	●1−3	●0−5	●0−1		●0−1	○2−0	5	2	9	12	−7		7
神戸市役所	●0−5	●0−3	●0−2	●1−2	●1−3	●1−2	○1−0		●0−2	2	2	12	6	−26		8
新日鉄広畑	●2−3	●0−1	●0−5	●1−2	●0−4	●2−4	●0−2	○2−0		3	0	13	6	−27		9

兵庫教員団　ベスト8へ
天皇杯全日本選手権大会

12月20日からはじまった第66回天皇杯全日本選手権大会（決勝大会）に出場した兵庫教員団は、1回戦古河電工がアジア・クラブ選手権に出場のために棄権したあと、大阪ガスと2回戦をたたかい1対1、延長、PK戦で勝って、JSL勢にまじってベスト8に進出した。

▷1回戦（12月20日）

兵庫教員団　キケン　古河電工

▷2回戦（12月21日、愛媛総合運動場）

兵庫教員団　1（0−1、1−0、0−0、0−0）1　大阪ガス

3　P.K.　2

得点者【兵】神田　【大】岡本

▷3回戦（12月28日、東京西が丘）

兵庫教員団　0（0−1、0−4）5　読売クラブ

第66回天皇杯全日本選手権決勝大会（関係分）

昭和61年度 神戸市
社会人リーグ試合結果

1部　10チーム

順位	チーム名	ビ	ユ	A	B	双	ア	神	発	六	県	勝	分	負	勝点
1	ビートルズA		○	○	○	○	○	●	○	○	○	8	0	1	16
2	KFCユース	●		○	●	○	△	○	○	○	○	6	1	2	13
3	KFCA	●	●		○	△	○	○	○	○	○	6	1	2	13
4	KFCB	●	○	●		○	●	○	○	○	○	6	0	3	12
5	双和クラブ	●	●	△	●		○	○	○	○	○	5	1	3	11
6	アーセナル	●	△	●	○	●		○	○	○	○	5	1	3	11
7	神高クラブ	○	●	●	●	●	●		○	○	○	4	0	5	8
8	川重発本	●	●	●	●	●	●	●		○	○	2	0	7	4
9	六甲ヒルケル	●	●	●	●	●	●	●	●		○	1	0	8	2
10	兵庫県庁	●	●	●	●	●	●	●	●	●		0	0	9	0

2部A　10チーム

順位	チーム名	K	同	市	長	マ	赤	灘	甲	あ	北	勝	分	負	勝点
1	KR&AC		○	○	○	○	○	○	○	○	○	9	0	0	18
2	神大同好会	●		△	○	●	○	○	○	○	○	5	2	2	12
3	市役所B	●	△		●	○	○	○	○	○	△	5	2	2	12
4	長田クラブ	●	△	○		△	△	●	△	○	△	2	5	2	9
5	マツクエルフ	●	○	●	△		○	●	●	○	○	4	1	4	9
6	赤塚山FC	●	●	●	△	●		○	○	○	△	3	2	4	8
7	灘FC	●	●	●	○	○	●		△	●	○	3	1	5	7
8	甲山クラブ	●	●	●	△	○	●	△		○	●	2	2	5	6
9	あしかびFC	●	●	●	●	●	●	○	●		○	2	0	7	4
10	北須磨ク	●	●	△	△	●	△	●	○	●		1	3	5	3

2部B　10チーム

順位	チーム名	滝	頃	ス	専	教	税	ド	ビ	川	シ	勝	分	負	勝点
1	滝川クラブ		○	△	●	□	○	○	○	○	○	7	1	1	15
2	須磨クラブ	●		△	○	△	△	○	○	○	○	5	3	1	13
3	神戸スポーツマン	△	△		△	●	○	○	○	□	○	5	3	1	13
4	神戸高専	○	●	△		●	○	●	○	△	○	4	2	3	10
5	教員C	■	△	○	○		○	○	△	●	○	5	2	2	10
6	神戸税関	●	△	●	●	●		○	○	○	○	4	1	4	9
7	神戸ドクターズ	●	●	●	○	●	●		●	○	○	3	0	6	6
8	ビートルズB	●	●	●	●	△	●	○		○	●	2	1	6	5
9	川重神戸	●	●	■	△	○	●	●	●		○	2	1	6	3
10	アシックス	●	●	●	●	●	●	●	○	●		1	0	8	2

昭和61年度 神戸市総合体育大会
高校秋季リーグ結果

〔チャレンジ戦〕

神　戸(3部A1)　1−0　東　灘(3部C1)
夢野台(3部B1)　2−1　伊川谷(3部D1)

〔入れ替え戦〕

○1部 ― 2部

赤塚山(1部A4)　1−1　兵　庫(2部B2)
六　甲(1部A5)　0−1　長　田(2部A1)
御影工(1部B4)　2−0　神戸FC(2部B2)
育　英(1部B5)　0−0　神戸朝鮮(2部B1)
（この結果、長田が1部昇格、赤塚山御影工、育英は、1部残留）

○2部 ― 3部

須　磨(2部A5)　0−1　神　戸(3部A1)
星　陵(2部A4)　0−0　東　灘(3部C1)
須磨友が丘(2部B4)　1−2　伊川谷(3部D1)
（この結果、神戸、伊川谷が2部昇格、星陵は、2部残留）

（1部）八代、滝川第二、御影、神戸弘陵、北須磨、甲北、赤塚山、御影工、長田、育英

おかあさんのサッカー教室　ご案内

○とき　第1期　5月〜7月　第2期　9月〜11月　第3期　1月〜3月（水曜と金曜週2回9:30〜11:00）
○ところ　神戸市立磯上球技場、御崎少年。
○参加費　一人一期3,000円（随時受け付けますが、一応定員を1期30人とします）
○講　師　林　幸男（神戸市少年サッカー指導者の会会長）
○お申し込み・お問い合わせは　葉書に
①住所　②氏名　③年齢　④電話番号
⑤スポーツ歴を書いて、下記へお申し込み下さい。
〒651 神戸市中央区八幡通2-1-10 三木記念神戸市立スポーツ会館内 神戸市サッカー協会「おかあさんのサッカー教室係」 TEL (078)232-0753

神戸市少年サッカー指導者講習会中級コース　ご案内

昨年夏の初級コースにひきつづき、中級コースを下記の通り開催します。中級コースでは、実際に少年の指導を体験し、やや専門的な勉強もします。ふるって受講下さい。

主催　神戸市サッカー協会
後援　(財)ユーハイム体育スポーツ振興会
期日　実技2月1、8、11、15日16〜18時　御影工高体育館
講義2月3日(火)6日(金)10日(火)13日(金)17日(火)20日(金)19〜21時　磯上市立スポーツ会館
指導実習　2月22日　御崎少年　（以上11日間）
資格　指導歴1年以上ある方。初級コース終了者。中学校教員。サッカー歴5年以上で20歳以上の方。
参加費　2,000円
申し込み方法
1月31日（必着）までに葉書に①氏名②生年月日③住所④電話番号⑤勤務先⑥サッカー歴⑦指導歴を記入の上協会事務局へお申し込み下さい。
くわしくは神戸FC加藤寛まで。

神戸市社会人運営会議予定
次回　2月19日(木)

3月12日、3月19日。いずれも18時30分から王子登山研修所。社会人リーグに参加している各チームの代表者が必ず一人出席して下さい。

個人購読のご案内

弊紙を個人で購読ご希望の方は、1年分として70円切手12枚を同封のうえ、次のところへお申し込みください。
〒650 神戸市中央区八幡通2−1−10 三木記念神戸市立スポーツ会館内 神戸市サッカー協会 ☎078-232-0753
なお、数人分まとめて申し込まれる場合は割引がありますのでご連絡ください。

本紙は右記の店にもあります

有宏スポーツ
東灘区御影本町4丁目11-9　☎078(412)2601
阪神御影駅南側西へ30m

塩谷スポーツ
兵庫区大開通7丁目5-26　☎078(576)0870
高速大開駅東

MEN'S SHOP MAC
三宮センター街店　☎078(391)0895
プレザーショップ、トーアロード店　☎078(391)0896
ドルチェ・マック、センター街店　☎078(332)0141

ヤノ運動用品
本店　中央区三宮町3-8-1　☎078(391)1121
ファイブ店　中央区三宮町2-7-8　☎078(331)4578
六甲、長田、白川台、名谷、西明石、高砂、姫路、岡山

スメラ
湊川店　湊川プラザ2階　☎078(511)2234
鈴蘭台店　ダイエー西側　☎078(592)0470

加茂 トアロード店
中央区三宮町3−8−8　☎078(392)0234
国鉄元町駅南側東へ100m

サッカーショップ PKF
中央区下山手通3丁目3-10　☎078(332)5519

ワールドスポーツ
東灘区深江北町4丁目7−3　☎078(453)2186
阪神深江駅北側信号西

Juchheim's
Für große und kleine Feinschmecker
Kobe-Frankfurt am Main
Seit 1921
ユーハイム

月刊
神戸のサッカー

1987　1月号

発行所　神戸市サッカー協会
神戸市中央区八幡通2-1-10
三木記念神戸市立スポーツ会館内
〒651　☎(078)232-0753
発行人および編集人　一北　四郎
神戸市灘区上野通6丁目3−12
〒657　☎(078)861-3100
毎月1回10日発行 購読料1部50円

年頭の辞
少年よ野心を持て！

神戸市サッカー協会会長　河本　春男

輝かしい昭和62年の新春を迎えられ、誠におめでたくお祝い申し上げます。毎年のことながら、心新たに迎えた新年でございますが、サッカーを志す青少年の皆さんに一つお願いを申し上げます。

皆さんもご承知の通り、サッカーはプレヤーの数において、観衆の熱狂振りにおいて、他の競技を凌駕し、世界のすべての国民に愛好されているスポーツであります。それだけに各国が競い合って、オリンピックやワールドカップへの出場権を得るため、必死の努力を続けています。今日、日本チームは残念ながら世界のレベルに到達していません。

かってメキシコ・オリンピックには三位を獲得した日本が、何故、こうなったのでしょうか。豊かさに甘え、文武兼備の学徒たらんとする必死の努力が足りないからではないでしょうか。中川一政画伯が次の如く言っておられます。

「努力を永続させることのできる才能を天才という。しかし、なまじっかな我慢や意志で努力を永続させることはできない。努力をするのは、努力させるものがあるのだ。永続させるものがある、そのよって来るものがあるのだ。」と。

これは生涯に賭ける必死のビジョンを持ち、心に期する不退転の覚悟がなければ続かないぞ、と警告しておられるのだと思います。

毎日、毎日、コツコツと積み上げる努力、それは誰にも見えないものですが、きっと、自分を段々、物にしてくれます。何事も人並みでは人並以上にはなれません。若い皆さんは、あれもこれもいろいろやりたがるようですが、それは結構なこと、視野を広くすることは若人の特権ともいえましょう。だが、私は敢えて提言いたします。

「これだけは他人に負けないぞ」という何か一つを、生涯賭けて身につけて貰いたい、ということであります。それがサッカーであってもよい訳です。クラーク博士は「ボーイズ・ビー・アンビシャス」と言われました。

今年はそのような年にしようではありませんか。

神戸にプロ・サッカーチームを…！

神戸市サッカー協会理事長　一北　四郎

サッカーにプロ選手が出現し新しい方向に進みはじめたのが昨年のことでしたが、神戸のサッカーにも新しい力が生れてきました。

新春の高校選手権大会には、創部3年目の滝川第二高校が初出場をしました。

神戸市中学生選抜が関西中学生選抜大会に初出場しました。

今年3月には神戸市中学生選抜2年生が韓国の釜山市へ親善試合に出かけます。若いサッカー選手が外国遠征を経験することでさらに大きく成長することを期待します。

神戸市少年リーグの加盟チームも数が増し、試合数が多くなり、グラウンド確保に大会役員が大変苦労している状況です。

少年、中学、高校と底辺の拡大は順調に進んでおりますが全国レベルに追い付き、追い越すことがこれからの課題です。

神戸にプロ選手も加わったトップチームを実現する夢をかかげ、一歩前進させたいものです。その意味で12月末の天皇杯全日本選手権大会で兵庫教員団がベスト8に進出したことは近年の大ヒットでした。3回戦で、前年日本リーグチャンピオンの古河がアジア・クラブ・チャンピオンズカップに出場のために天皇杯を棄権せざるを得ないと言う異常事態の発生が好運であったとは言え、先生だけで結成されたチームが日本リーグに参加することは実際には不可能ですが、神戸のトップチームを日本の代表的なチームに押し上げるために、プレーヤーとしてだけでなく指導者としても大いに努力している兵庫教員団の先生方に敬意を表し、拍手をおくりたいと思います。

プロ選手を加えたトップチームの実現のためには、やはり神戸で生れ育ったサッカー選手が大人になって神戸でサッカーをプレーする気持ちになることが大切です。しかし神戸の企業でサッカーのトップチームを持とうと言うところがありません。さらにサッカー場がいつもガラガラでは話しになりません。サッカー場が有料入場客で満員になることがぜったいの条件です。

神戸で生れ育ったスーパー・スターが神戸のサッカー・ファンの前で力と技のすべてを見せすばらしいサッカーのゲームを展開し、観客がエキサイトするようになって、初めて神戸のトップチームにプロ選手の実現ができるのです。サッカーに大きな夢をいだき、目標に向けて懸命に努力するサッカー選手が一人でも多く生れ育つこと期待しています。

小4以下の部は、県大会常連チームの神野少年クラブを破って出場した東播の天満少年クラブが、初出場とは思えないほど他のチームを寄せつけずに見事優勝の栄冠を勝ち取った。

今大会は、一つの会場で4コートがとれるという広い会場で、そして、主管の明石市協会の運営及び受入れ態勢のすばらしさに敬意を表するものであります。又、審判については地元明石市協会はもちろんのこと県下各地からご協力いただきましたことを本誌をお借りしてお礼申し上げます。

なお、小6以下の部の上位2チーム千歳クラブと西淡湊少年団は、12月14日、和歌山県打田町にて開催される第10回さわやか杯関西少年大会に出場した。

▷小6以下
優　勝　千　歳(神戸)
準優勝　西淡湊(淡路)
第3位　高倉台(神戸)
第4位　高丘西(明石)

▷小4以下
優　勝　天満東(東播)
準優勝　明石FC
第3位　神戸FC
第4位　高丘東(明石)

第16回兵庫少年大会

小6の部……千歳SC（神戸）
小4の部……天満東（東播）
が優勝

第19回兵庫県少年大会は、11月23日、24日の両日、明石市海浜公園で開催された。小6以下、小4以下とも県下の総参加チーム数は200チームをこえ、少年サッカーの広がりを感じた大会であった。

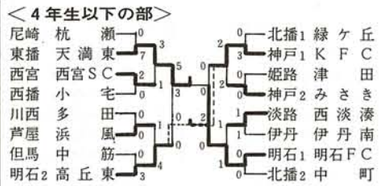
小6以下の部では、夏の全日本少年大会で、神戸地区の代表になれなかった、ウップンを晴らすかのように千歳クラブが他のチームを寄せつけず、やっと決勝戦において西淡湊が喰い下っていったが、チーム全員のスピードの早さと、フォローの良さで、やはりおよばなかった。

▷小6以下の部決勝　(11月24日)
千歳SC（神戸）2（2−0、0−1）1　西淡湊（淡路）

▷小4以下の部決勝　(11月24日)
天満東（東播）3（1−0、2−0）0　明石FC（明石）

第19回 兵庫県少年大会 結果

＜4年生以下の部＞



＜6年生以下の部＞

第65回全国高校選手権大会

兵庫県代表滝川第二　激戦区に入る

１月２日から試合が行われる全国高校選手権大会に出場する兵庫県代表、滝川第二高校は、一回戦で岐阜工と対戦する。63回大会の伊丹西、62回大会の北須磨と県代表が初戦で敗れた宿敵であり、４年連続５回目の岐阜県代表となった強敵だけに初戦突破に全力を集中する。出発を前に黒田監督は全国大会参加のほうふについて次の手記をよせた。

少年サッカーの心と初出場

61年度兵庫県高校選手権大会で優勝を飾った選手諸君の健闘を讃えるとともに全国大会への抱負を述べさせていただきます。

今回の優勝の原因はまず少年サッカーの力にあります。県大会登録の20名中、小学生からの経験者は15名、中学生からは４名、高校から始めた者は１名となっています。学年が下がれば小学生からの経験者数はもっと増えます。そして私は少年サッカーの心を強調してきました。少年サッカーの心とは何か？

それは指導者（監督、コーチ、父母兄弟）の情熱と愛情です。少年をサッカー好きにさせるかどうかは指導者の情熱にかかっています。指導者の情熱と愛情から少年達は技術、戦術を学ぶとともにスポーツの楽しさ、人間の尊厳、けじめ、明るさ、勇気を学んでいくのです。現在の部員60名を育てて下さった少年サッカー（小、中学生）の指導者の方々に紙上を借りて感謝の気持ちをこめてお礼を言わせていただきます。

今年度幸運にも三冠を制することができましたが、最大の目標はもちろん選手権大会にあったことは間違いありません。その目標実現に向ってスタートを切った今年をふり返って、新人戦優勝が大きなウェートを占めていたと思います。新人戦制覇にむけて、それはよく練習しました。最も練習した時でした。

さて最後になりましたが、今回の選手権に向けての抱負ですが、正直、県代表として恥じないプレーをと思います。チームのモットーどおり「ひるまず、おごらず、はつらつと」。

滝川第二（兵庫）初
岐　阜　工（岐阜）５ ―― ２日　西が丘
愛　　知（愛知）６ ―― ２日　西が丘　　３日　駒沢
玉野光南（岡山）初

10時の開会式の後ゲームが２時45分と空いていたので心配があったが「全員で勝って関西大会へ」という意気込みが選手たちに見られたので安心した。前半15分、ハーフから右ウイング豆成へのつなぎ、そこから中へドリブル、スイッチした小野山が北田にパス、北田が２人かわしてＧＫと１対１ゴールに叩きこんで先制。25分、須浦と小野山のパス交換から須浦がセンターリング豆成が絶妙のスルーをしたのを北田がノーマークでゲット。

▷準決勝（11月24日）
神戸選抜　５（４―１）２　尼崎選抜
10分、北田のセンターリングを豆成がヘッドで折り返し、走り込んで来た鈴木がワントラップして見事なシュートでゴール。23分、小野山、27分須浦、30分須浦、後半20分鈴木と、点を加え尼崎の得点を２点に押えて快勝。

▷決勝（11月24日）
神戸選抜　２（１―０）０　西宮選抜
【得点】10分豆成、後半18分北田

神戸市中３選抜メンバー

監督　石川靖彦（桜が丘）コーチ　安福幸男（鈴蘭台中）コーチ　阪本龍彦（湊川中）
選手　神川望　下野一男　前川浩二（高倉）金田忠男　福井健之　藤井泰之　岡本茂行小野山量大　小林弘和（神戸ＦＣ）前田憲司樽谷朋也　須浦興一（西代）後藤直樹　坂中顕也（桜が丘）築山友和（本庄）村尾高俊西尾泰紀　鈴木敬　豆成修（鈴蘭台）北田洋井上浩次　沖恵一（友が丘）平井孝裕（広陵）太田一威（六甲）上坂勉（塩屋中）

県高校新人大会　市予選始まる

兵庫県高等学校新人大会神戸市予選は12月20日から１月24日まで、市内高校グラウンドで開催される。今年の市予選では、全国高校選手権大会代表の滝川第二高が自動的に出場権を得たために市予選に参加していないので、上位チームの実力がそろっており混戦が予想される。その内では、市内高校リーグＩ部Ａグループの一位となった八代、Ｂグループ２位の神戸弘陵が第１、第２シードに入っているし、有望な１年、２年生が多く居て初優勝を目指している。

ここしばらく新人戦の不振が続いた御影工も、選手権予選から多くの１、２年生がレギュラーとして出場しており戦力もアップしている。神戸甲北も選手権を２年だけで戦ったチームだけに、チームとして出来上っているし力を付けている。

御影、赤塚山は３年生が多く抜けたため、メンバーが一新されたが旧チームからのレギュラーを中心にチームを作り上げている。

選手権大会予選から新チームで戦った長田、六甲、北須磨あたりも実力があり、上位をねらっている。

いづれにしても神戸市から６校の県大会出場であり、上位が混戦だけに３部あたりの新しいチームにもチャンスがあるので、上位校と言われるチームも油断ができない。なお、県の新人大会は２月７、８、９の３日間姫路市内で行い、ベスト４を決め、11日、15日に神戸中央球技場において準決勝、決勝を行うことに決っている。

県高校新人大会　神戸市予選　組合わせ

決勝は１月24日　14時　神戸中央球技場

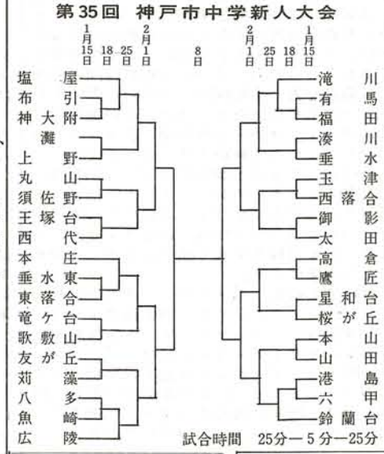
第35回市中学校新人大会　組合せ

61年度第35回神戸市中学校新人大会が、１月15日から２月８日まで、灘中学校グラウンドを中心会場に下記組み合わせで、開催される。

今年度は、新チーム結成後、早くから個人技、戦術共に高いレベルに達している歌敷山や、個性豊かな選手の多い桜が丘中が優勝候補と目される。また、ダークホース的な存在として、塩屋中、鷹匠中、鈴蘭台中も見のがせない。

各チーム、各選手が新人らしく、ファイトあるプレーで、好ゲームを展開することを、期待している。

第35回　神戸市中学新人大会



神戸市釜山市中学校親善試合

62年３月27日から29日まで韓国釜山市へ、神戸市中学校２年生選抜チームが親善試合に遠征する。昨今の神戸市少年サッカーの隆盛や国民体育大会での兵庫県高校選抜の上位入賞を見るにつけ、中学校段階でも、できる限り一層の強化をはかりたいと考え、今回の遠征を企画した。

なにぶん中学生なので制約も多く不安もあったが、61年春から選手選考を兼ね強化して、11月中旬に別記のメンバーを選んだ。このチームは現在２年生なので技術、体力、精神ともにまだまだ未熟ではあるが、アジアNo.１の韓国サッカーを身をもって経験することで、将来の神戸、兵庫のサッカー界に役立つサッカーマンに育って欲しいと考えている。

実施にあたっては釜山協会の招請を受け、神戸市教育委員会の後援をいただいた。遠征費用、渉外に当たっては、兵庫県協会、ユーハイム体育スポーツ振興会に多大なるお世話になり誠に有難うございました。

スタッフ、選手一同、皆様の期待に添うよう一層努力していこうと考えています。

市協会中学委員長　市川雄一

神戸市釜山市中学校親善試合遠征メンバー

団長　白石幸男　**総務**　山名康雄　**マネージャー**　市川雄一　**監督**　川並浩司　**コーチ**　谷口忠男
〔**選手**〕岸川裕治　灘井康夫（本庄）山口顕神尾雅之（歌敷山）山口芳央（王塚台）木下幸治（有馬）安福秀明　下浦幸信　熊野貴之（鷹匠）衛秀樹（桜が丘）志水平太（塩屋）玉田博（上野）源丸直樹（西落合）中田真好（西代）井上繁男（広陵）佐藤隆男（鈴蘭台）寺沢直貴（友が丘）野村豪人（神大附属中）

神戸市中３選抜　関西中学選抜大会　兵庫県予選に優勝

第８回関西中学生選抜大会兵庫県予選は、11月23日と24日、尼崎市で行われ、神戸市中３選抜が初優勝し、１月４日からの関西大会に念願の出場を決定した。

▷２回戦（11月23日）
神戸　２―０　東播
１回戦不戦勝で、東播―明石の勝者と対決することに決っていたので選手共々東播の試合ぶりを観戦した。

株式会社 モルテン
広島／東京／大阪／名古屋／福岡／札幌

日本サッカーに ルネサンスは起こるか？（３１）

枚方ＦＣ　近江　達

この連載は、雑誌サッカー・ジャーナルに連載されている枚方ＦＣの指導者、近江達氏の随想をサッカー・ジャーナルのご好意で転載しております。

「日本サッカーの発展のためにはルネサンスにも匹敵する人間性の解放が必要である」と、近江氏はいうが……。

土壌の問題

日本人は利口だから、オリジナルなことをするのがものすごくしんどいことを知っている。　――伏見康治

今日、我国の工業技術は欧米を抜いたとよく言われる。しかし真相はそうでもない。もとになる基盤技術とか基礎研究の特許では依然として欧米が優れており、それを使っての改良応用、とくに商品量産、低価格輸出で日本が彼らを凌駕したにすぎないのである。

早い話、例のエコノミックアニマルで、技術そのものには志も理解もあるわけでない。だからいつ儲かるようになるのやら見当もつかぬ道楽めいた研究開発になど金も時間もかけるはずがないのである。こうした体質風土であることを思えば、サッカー界が独創的あり方を嫌い、技術に対する理解がなく育成向上に気乗り薄なのも無理からぬことと言えよう。もし巧い選手がいたとしても、それではっきり勝てると決っているのなら別だが、そうは言い切れないのなら、そんな技術や選手はいらない。すぐには儲けに直結しない基礎技術や研究などお呼びでないのと同じ考え方である。もし水準以上の技術や巧い選手が欲しくなったら、外国から技術特許を買うように外人選手を連れてくればいい。苦労して育てなくてもその方がてっとりばやい。国内では日本式チームプレー用選手さえ育てておけば十分なのである。

かってユース欧州遠征で、小柄な佐々木博和（枚方ＦＣ → 現松下電器）は大きな外人をスイスイ抜くので、観衆が大喜び。ボールを持つと一斉に拍手喚声。黄色いペレ！日本にもこんなに巧いのがいるのか？本当に日本で育ったのか？ブラジルで育ったのではないのか？と行く所行く所で質問ぜめ。向うの新聞に連日大きく扱われ、在留人も鼻高々。お蔭で、日本では疎外される彼も試合によく出してもらうことができた。巧技を楽しみ喜ぶ習慣はサーカスの観衆の態度からよくわかる。

技術に対する評価がまったく違う。向うにはハイレベルのサッカーが育ち得る土壌がある。我国もいかにきびしい競争社会とはいえ、人生でも仕事でもスポーツでも、勝った、負けたしかないのでは、あまりにも心が貧しすぎよう。技術とその必要性や楽しさに対する理解がもっと深まって向上育成の気風が起ることを切望してやまない。

風の間に間に種子をまこう。
何も無駄にはなりません。
種子はしばしば地中で
　芽生えるのに手間どるけれど、
いつかはきっと芽生えてくるものです。
　　ロマン・ローラン

シンプルなサッカー、それは理想であり、真理である。しかし、それは、選手に自然に戦術眼がつき、熟達洗練された段階での到達目標なのである。初心者のうちは、判断が遅く、誤まりが多いのは当然なのだ。時間をかけて、苦労しながら、しだいにシンプルなプレーができるようになるのだ。はじめから強制しないほうがいい。

硬直した組織原理

調子の良いときはいい。しかし組織そのものの中身を変えて対処しなければならない場合はダメ。　――山本七平

サッカーの戦い方には、大きく分けて、組織プレーでいこうとするものと、おもに個人の技術や戦術的能力で戦っていくものとがあり、実際の試合は両者がいろんな形、いろんな割合で入り混じって進行する。

その配合の仕方とか内容、比率は国民性からくるところが大きく、個人的な技術能力で戦う代表的なものは南米人のサッカーで、黄色人種は組織中心の傾向が強い。

両者は互いに地球の中心をはさんで、ちょうど反対側に住んでいるが、サッカーの流儀もそれと同じように正反対になっているわけである。中でも日本は極端で、組織派の最右翼といってよい。伝統にあきたらず、「もっと個人を前面に出す自由なサッカーをやるべきだ」と主張する人々もないではないが、ごく少数が点在するにすぎない。

「組織か、個人か、どちらがよいか」よく話題になるけれども、実際には、どちらかひとつだけでは試合はできない。組織戦でいくつもりでも、個人の力で打開し切り抜けねばならない場面が、必ず何回となく起こる。だから、流儀はともかく、また、どんな方針で進むにしても、個人のそうした能力は必要不可欠で、個人のレベルは高いほど得だ。それくらい、少しサッカーになじんだ人なら誰だってわかることである。

ところが、我国のサッカー界は、組織プレーの歯車としての性能改良なら構わないのだが、「孤立した状況でも臨機応変にしっかり戦えるように実力をつけさせる」という方向での個人のレベルアップとなると、いまひとつ乗り気でない。実際に個人の技術能力の差で試合に敗れてさえ、頑として方針を変えない人が多い。

それは、これまでも書いてきたように、「サッカーはチームスポーツだから、チームプレー、組織プレーだけを指導練磨すべきであり個人の技能も、すべて、そのためのものでなくてはならない。それ以外は誤りだ」と心から信じているか、「そういう方針で画一平等に教育を進めるように決められている以上、それに従わねばならない」と思いこんでいるためである。

組織主義サッカーの欠陥

全体主義的な空気を頭脳の形成期に吸ってしまった人は、一生、自分の頭で自由に判断する能力をもてなくなってしまう。　――塩野七生

▲日本では少年サッカーも組織重視の傾向がある。
（写真とテーマとは直接関係ありません）
写真提供　冨士　信男

いまブラジルでプロになっている水島武蔵を初めて私が見たのは、彼がまだ小学三年生のときだった。一年上の四年生チームのセンターフォワードで機敏に走り回っていたが、そのうち、これというミスもなかったのに交代させられてしまった。「シュートは全部、ダイレクト！」という先生の指示にそむいて、トラップしてからシュートしたためである。

選手に対する統制管理は熱心な指導者ほど厳しい。まして全国の指導者が模範としている日本一のチームともなれば、これくらい当然かも知れない。

ただし、それで万事巧く運ぶのか、というと、そうもいかないから難しい。国内では、お互いに同じような組織戦をやるもの同士だから「厳しいもの勝ち」が成り立つ。だが、外国チーム相手だと、そうはいかない。小さい間は日本が勝つが、大人になると、むしろそのために損をしているところさえある。

たとえば、外国チームの突破とか得点は、個人技によるものが多い。ところが、日本チームの方はそういう攻撃に慣れてないものだから、彼らと試合すると、防ぎきれないケースがしばしば出てくる。

そもそも「チームスポーツだから組織プレー以外はいけない」という大原則は、その昔、わが国の指導者の誰かが言い出したか、それとも交部省が決めたのか、どちらにしても、紛れもないメイド・イン・ジャパンなのである。そのことは、外国、とくに、本場でありお手本である欧米チームの試合ぶりを見ればわかる。彼らは、どちらかといえば、組織化された作戦よりも、選手それぞれの状況判断やアイディア、個人技などの集積、組み合わせで戦う。むろん、個人のそうした能力はどんどん活用していいし、優秀なものなら、より効果的に生かすほど喜ばれる。

何しろ本場がそうなのだから、日本も選手たちをもっと自由にプレーさせてやろう。そうすれば、もっと生き生きしてどんどん巧くなれる。

モンブランの メインテーマ "スピードサッカー"
基本のプレーを徹底的に追求し、機能性を第一に考えたサッカーシューズ

markam® & Libero®
親しまれるサッカーウェア younger®
リベロメイン06
標準小売価格￥9,800
MONTBLANC
リアル・スポーツの追求
モンブラン株式会社
神戸・東京・福岡